

Go to Next Stage

歴史シリーズの最後は世界史のローマ帝国の繁栄からの教訓を紹介します。ローマ帝国繁栄のキーワードは「誠実」です。今後の学習法で参考にしてください。

ローマ帝国に学ぶ

ローマ帝国とは

世界の古代史のなかでも最も有名なローマ帝国の始まりは、紀元前6世紀の初め頃で、ローマの地に建国した都市国家でした。当時のイタリア半島には、多種多様な民俗の諸植民市がありました。ローマはそのうちの小さな国家のひとつでした。

紀元前27年。イタリア半島に誕生した小さな都市国家ローマは半島全域を征服し、やがて地中海全域を飲み込み巨大な国家「ローマ帝国」を形成しました。

ローマの誠実

ローマ帝国繁栄の要因は「誠実」であったことです。例えばローマは戦う際、正攻法の戦術を好みました。同じ年代に存在していた三国志の世界では、騙し合いが日常茶飯事であり、勝てば何をやってもいいのだという風潮がありました。しかしローマ軍においては敵国を騙して戦った記録は残っておらず、仮にそんな戦い方をしていたとしても、声高に主張しない文化があったのです。

「誠実」ということは、何事もごまかさないということです。だからこそ何事においてもより良いものを作るために、不足しているところに気づき、補っていきけるのです。何かを取り入れる際、仮に他にもっと容易なやり方が

あったとしても、その時考える最善を尽くすという思想がローマ人にはあったのです。

また、誠実さがあったから、他の国の技術を自国に取り入れ、洗練していくことができたと思います。ローマは自国独自でなんらかの技術に長けていたわけではありませんでした。しかし、周辺諸国の優れたものを取り込み、さらにブラッシュアップして新しいものを作り上げていきました。

現在もヨーロッパをはじめ多くの国々の法律の根幹にあるローマ法も、もともとはギリシアの法律だったものをベースにローマ人が作り上げました。それも、ただ真似ただけではなく、具体的な事例に適用させつつ、法学者同士が議論をしながら、判例集という形で練り上げていったと言われています。

正攻法の勉強

テスト勉強に関しては、毎日の授業や課題提出をしっかりとやることを正攻法のやり方と言えます。それに対して、テスト直前の一時的な徹夜の勉強は奇襲戦法と言えます。本当の実力がつく勉強のやり方は、やはり正攻法だと思います。

中学校時代、私の友人の父親は、テスト直前の徹夜勉強はさせなかったそうです。その父親いわく「テストは普段の授業内容から出題されるから授業をしっかり受けていれば

徹夜しなくても大丈夫」と。その友人の授業での集中力の高さは凄いものがありました。



百人一首大会の様子

ローマ人と 沖縄人の祖先崇拜

ローマ人の誠実さの背景には、強い信仰心があったのではないかと考えられています。信仰心が強いということは、常に神々に恥じぬ振る舞いを心がけていたということ。そのマインドが誠実さにつながっていったのではないかと考えられます。

また、父祖の威風を大切に重んじ、父祖に恥じないように、それに勝る行いをしようという意識が強いこともローマ人らしさです。

祖先崇拜への想いがあついとされる沖縄では、祖先の名を記して仏壇に安置する位牌は最も重要な信仰の対象とされます。その信仰形態は、他県にはみられない独自の形式を以て受け継ぎ伝えられています。

私事ですが、仕事やプライベートな事で何か失敗や良くないことがあると、母親から「御願不足やさ」と言われました。トートメーへ線香をあげて、事あるごとに先祖供養を行っています。それは私の子ども達にもよく言い聞かせています。

ローマ人の信仰心の強さと沖縄人の祖先崇拜への熱い想いは似ているように感じます。古くから受け継がれた沖縄の伝統文化

を守り続けて、他県にはない沖縄の良さや誠実さを受け継いでいきましょう。

参考文献:「古代ローマに学ぶ組織論」(本村凌二)

魯迅の日本観

実は日本人は昔から古代ローマ人と近い感覚を持っていたのだと思います。

例えば、1930年代、中国の思想家である魯迅が7年ほど仙台を中心に日本に滞在していた後、帰国すると「日本人の誠実さを中国人は学ばなければならない」と言っています。日中戦争が始まろうとしており、関係性が最悪だったにもかかわらず、この発言が出たということは、滞在中によっぽど強く感じたのだと思います。

もしかすると、最近社会で起こっている様々な不祥事は、当時の日本人の在り方が忘れられてしまっているが故に起きているものなのかもしれません。経済的合理性を求めただけでなく、日本人が本来持っていた誠実さを、今一度見つめ直す時かもしれません。

久辺中学校の生徒の皆さんは、これからの努力次第で可能性が無限に広がっていると思います。一生懸命努力して優秀な成績を修めたとしても、高慢さや他人を軽蔑する態度を取っていると、良い成績は長続きしません。古代ローマ人を見習って、日本人が本来持っている誠実な心で学校生活やこれからの人生を過ごしていきましょう。



授業中の様子